

2019 年度 A E D 訓練器等助成事業 活動実績報告書

(2021 年度分)

団体名	特定非営利活動法人ニューいぶき FAST いぶき
-----	--------------------------



阪神淡路大震災の経験を踏まえ、災害時のみならず、いざという時にあわてずに自分たちができることをしっかりできるよう備えるため、井吹台自治会連合会では年1回、地域の小学校を会場として、各自治会代表者や地域の防災ジュニアチームも参加する防災訓練を実施している。西消防署の協力立ち合いの下、給水施設の使用法確認、プールでの放水訓練、搬送訓練、AED を用いた心肺蘇生法の展示と体験、水消火器による消火訓練や消防車の展示等のコーナー等を、5 つの班に分かれた参加者が 15 分ごとにまわる方式で実施。FAST いぶきは発足時より AED 心肺蘇生法のコーナーに（年度により搬送訓練にも応援）参加している。

新型コロナの感染拡大により、昨年度は規模を半分以上縮小して計画するも感染者の増加により実施できず、後日役員のための研修会となった。今年度も同様に計画し、予定通り実施することができた。1 グループ 10 名前後が 5 分ほどの説明と希望者のみ 10 分程度の実技体験をしてもらった。いざというときに、その場にいあわせた人ができることを安心してできるよう、特にコロナ禍での応急手当ての注意点をしっかり伝えるようにした。実施に際して、換気をしつつ、説明時にはインストラクターと参加者の距離を 2m 以上とり、体験時も、参加者どうしの距離を十分に取り、人形ごとにアルコール消毒液や、感染防護品の身の回りにある代用品としてポリ袋を準備するなど、安心して参加できるように計画した。

人数を縮小しての実施により、従来よりも一人当たりの実技体験の時間がとれた。実際に使ってみての体験により、ポリ手袋や介護用のよりフィットしたタイプの手袋の方が実際の使い勝手としてははるかに優れていることを感じとれ、例えば普段使っているものがあれば車やカバンの中に入れておくメリットを感じ取れた。